

1. 記入日をお知らせください。 例) 2024年10月3日	6. 検査ビデオについて、ご意見をご記入ください	ビデオへの反映
2024/10/15	検査の一連の流れが良くわかり、良く出来たビデオと思います。レケンピ点滴治療の時にも新潟大学の先生が腰椎穿刺の検査ビデオを作っていましたが、これは座位で腰椎穿刺、髄液排除をする方法も示していました。座位の腰椎穿刺ビデオを追加しても良いかと思ひます。また、腰椎穿刺後頭痛を心配されて腰椎穿刺に向き合えないドクターがたくさんいるかと思ひます。腰椎穿刺後頭痛が出現したときの対策・対応も載せると完璧と思ひます。その他髄液排除前後の検査バッテリーは必要最小限のもので示しており、それも現時点ではよいと思ひました。	座位での実施については、iNPHの診断で求められる「正常圧」の確認のための初圧測定を考慮すると、次善の手段として紹介すべきかと考えます。本動画については、一般的な腰椎穿刺とは異なる「タップテスト特有の事情」を中心に短時間で解説することを主眼としているため、このビデオでは一般的な腰椎穿刺と共通する事情については、最低限の解説にとどめたいと考えています。 同じ理由で、穿刺後頭痛のことも含めない方針で元々考えていました。ただ、ご意見を受け、排除量が大きく、頭痛が出る可能性が高いのではないか、と不安に思われる方がいる可能性もあると判断し、動画の最後に、腰椎穿刺の一般的な手順に関しては本動画で触れるのは最小限にしたこと、iNPHのタップテストにおける穿刺後頭痛に関する知見について追加提示しました。
2024/10/16	分かりやすいと思ひます。	
2024/10/22	良く出来ていて、判りやすいと思ひます。	
2024/10/22	大変よいと思ひます。	
2024/10/22	分かりやすく、良くできていると思ひます。	
2024/10/23	ビデオにてタップテスト前に前提として行うべき検査などが効率よく作成されていて、脳神経外科の若い医師が学習するにはとても良い教材であろうと感じました。	
2024/10/24	6.38.25 被検者さんの頭に書かれている赤い丸のなかの「頭蓋脳圧」は「頭蓋内圧」ではないでしょうか？6.56.27 人の脊髄に向けて腰部脊柱管と矢印が書かれていますが、胸椎レベルのようですから、単なる脊柱管と修正される方がよいかと思ひます。7.12.16腰部脊柱管—腹腔シャントは腰部くも膜下腔腹腔シャントが正式名称と思ひますが、一般向けであれば、腰部脊柱管—腹腔シャントの方が直感的でよいかもしれません。	「頭蓋脳圧」を「頭蓋内圧」に修正します。 矢印をより下方にする形で修正しました。 LPSの正式名称は腰部脊柱管—腹腔シャントに修正しました。
2024/11/19	とてもわかりやすいです。傍正中穿刺の有用性も示していただけたら良いと思ひました。	一般的な腰椎穿刺とは異なる「タップテスト特有の事情」を中心に短時間で解説することを主眼としているため、このビデオでは一般的な腰椎穿刺と共通する事情については、最低限の解説にとどめたいと判断し、追加しませんでした。
2024/11/25	ガイドラインのダイジェストという意味では非常に簡潔にまとまっており、有用なコンテンツと感じました。特に腰椎穿刺とTimed Up & Goのパートは初学者にもわかりやすく伝えることができるため、改めて我々の施設でも若手教育に使いたいと思える内容でした。	